資料No.2

第37回日本ウミガメ会議 三陸大会の開催について

1　趣旨

全国の研究者や学生、保全団体などが集い、ウミガメの調査や研究成果、各地の取組を共有する「第37回日本ウミガメ会議 三陸大会」が東北地方では初、また過去最北となる釜石で開催される。これにより、新たな学びやつながりの機会が創出されるとともに、高い経済効果が見込まれる。

2　実施項目・実施スケジュール

【期間】令和8年11月13日(金)～15日(日)　　【場所】市民ホール TETTO ホール A ほか

【実施スケジュール】　※13日は近隣市町村へのエクスカーション

11月14日（土）

9:45	開会式
10:15	ウミガメのバイオロギング研究
13:10	東北とウミガメ
14:00	ポスター発表①
15:30	日本のウミガメ 2026　漂着・混獲・産卵
17:50	一般口頭発表①
18:50	懇親会

11月15日(日)

8:30	開場・ポスター発表②
9:40	一般口頭発表②
11:05	一般口頭発表③
12:10	閉会式
12:30	大会終了

3　参加者

全国のウミガメ研究者・学生・ウミガメの保全活動を行う団体等　約200～250名

※一般参加可能。県内参加者無料。

4　関連事業

大会に合わせ、子どもたちがウミガメや海洋生物、三陸の海について学ぶ機会として、以下の関連事業を実施予定。

（1）唐丹小学校での海洋学習（仮称）

主催：　岩手県、東京大学大気海洋研究所大槌研究センター

日時：　令和8年11月12日（木）13：25～14：10（5校時）

対象：　唐丹小学校4～6年生　18名

（2）「海と希望の学校」

主催：　岩手県沿岸広域振興局

日時：　令和8年11月15日（日）13時～（予定）※日本ウミガメ会議終了後に開催

対象：　市内小・中・高校生等

5　主催・共催

主催：NPO法人日本ウミガメ協議会　　共催：釜石市、東京大学大気海洋研究所

後援：岩手県、大槌町教育委員会、株式会社かまいし DMC